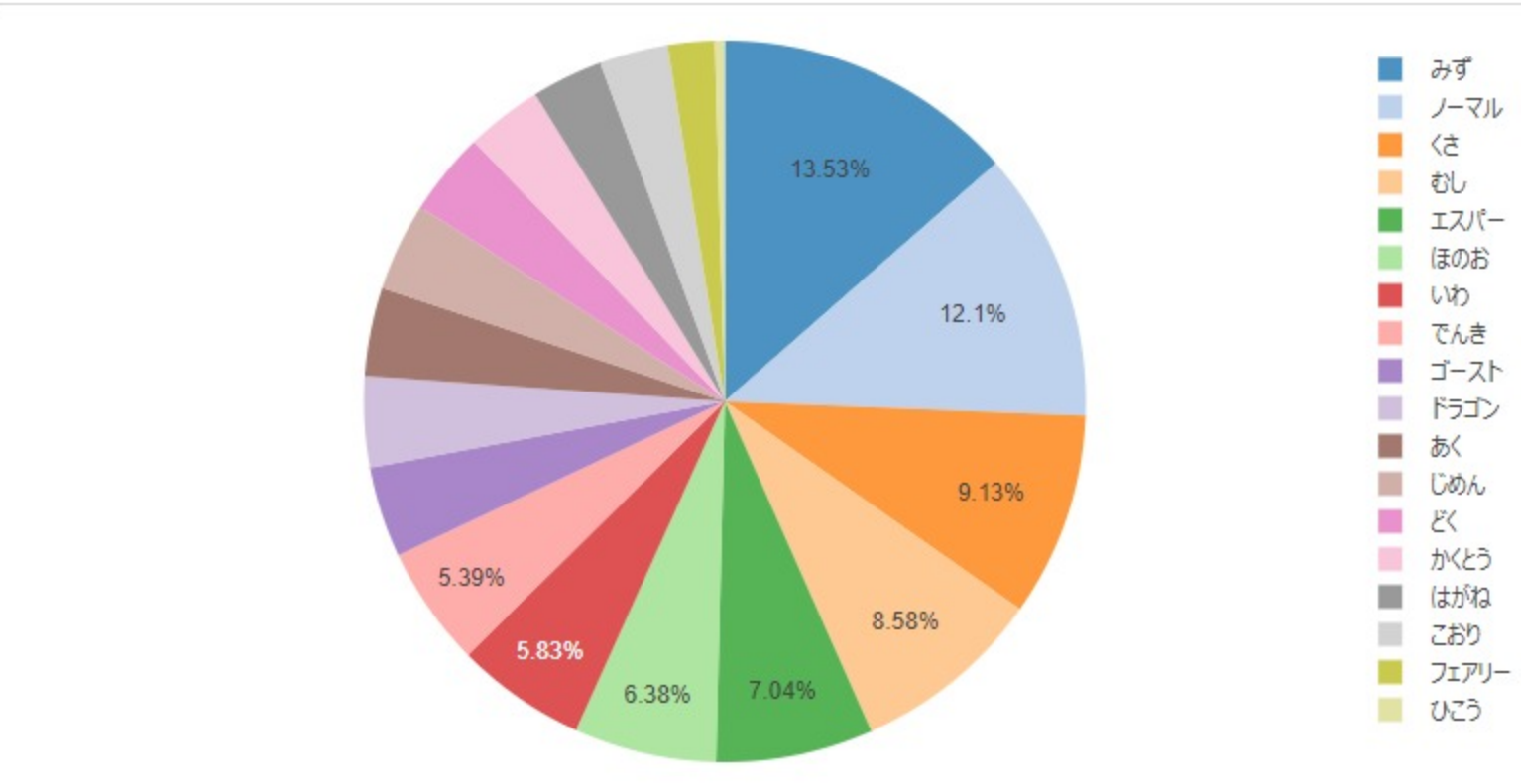


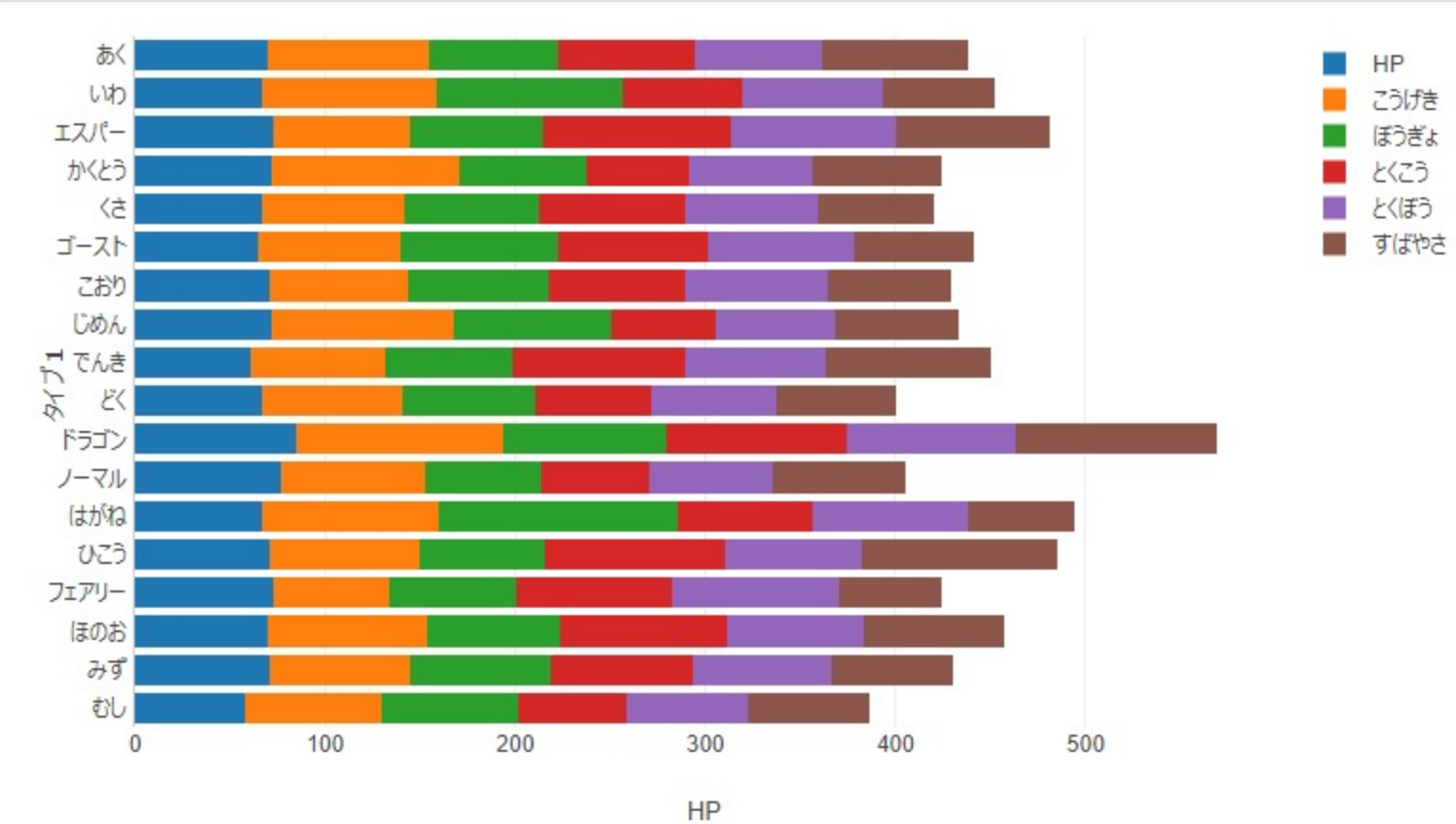
タイプ1比率



Text

タイプ1の比率を調べた結果、みずタイプがもっとも多いことが分かった。ポケモンの約半数は、みず・ノーマル・くさ・むし・エスパーのいずれかをタイプ1に持つ。

タイプ1別種族値合計



Text

タイプ1別に平均種族値を積み上げ棒グラフで見た結果、ドラゴンが高い合計値を持つことや、はがねのぼうぎょが高いことが分かった。

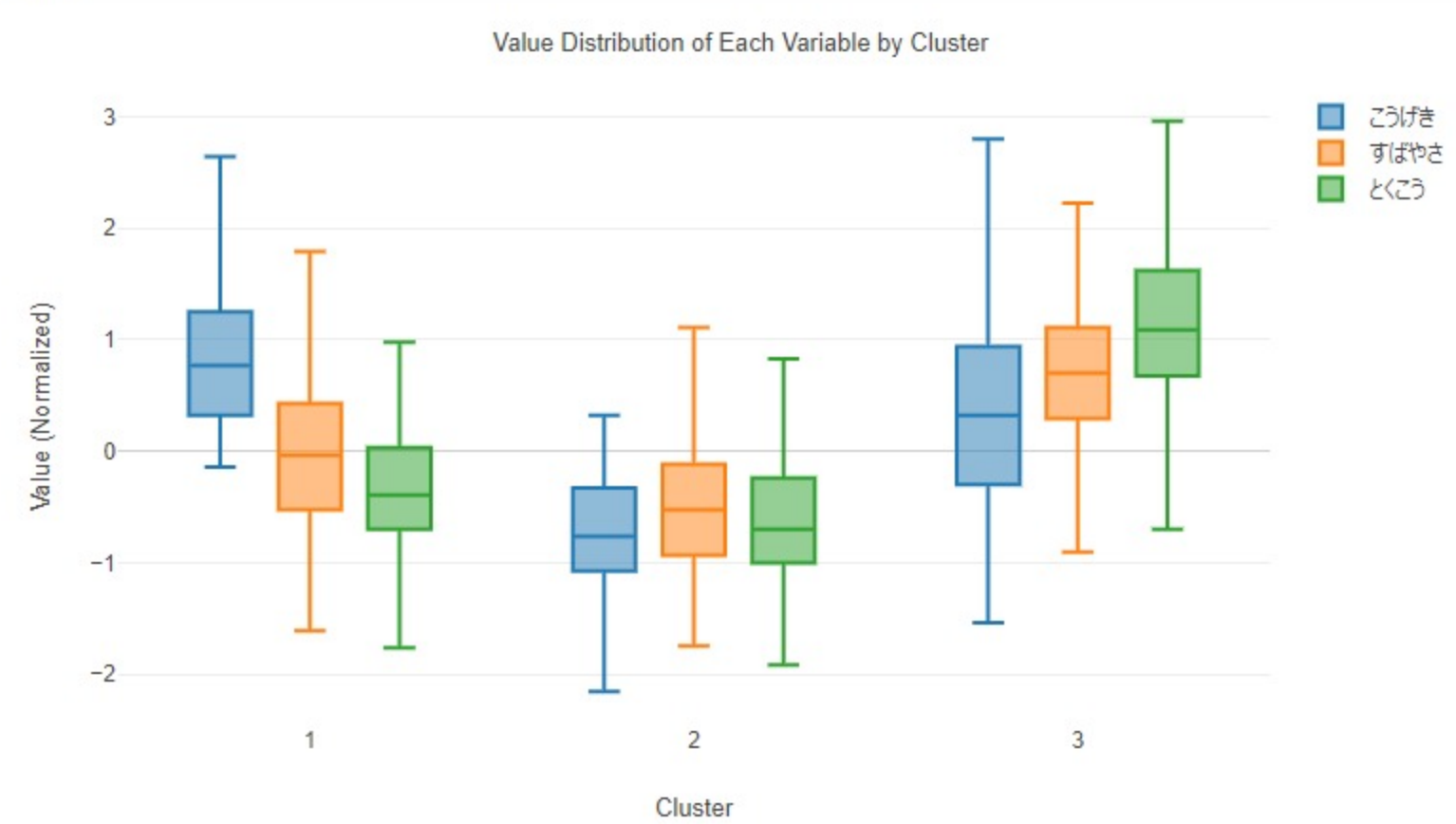
Positive Pairs

タイプ1	列1	列2	相関
ひこう	こうげき	とくこう	0.97818869121
ひこう	すばやさ	とくこう	0.88062866869
ひこう	こうげき	すばやさ	0.78576824275
フェアリー	すばやさ	とくこう	0.78034319862
じめん	こうげき	とくこう	0.67884822822
かくとう	すばやさ	とくこう	0.65998025577
はがね	すばやさ	とくこう	0.63203654579
ドラゴン	こうげき	とくこう	0.61985039248
はがね	こうげき	とくこう	0.6089031249
エスパー	こうげき	とくこう	0.60634368946
エスパー	こうげき	すばやさ	0.60410766131
こおり	すばやさ	とくこう	0.58398605916
ゴースト	すばやさ	とくこう	0.58205649245
エスパー	すばやさ	とくこう	0.57821255422
みず	こうげき	とくこう	0.56783749725

Text

タイプ1別にこうげき・とくこう・すばやさの相関係数を調べた結果、ひこうタイプはいずれの相関係数も高いことが分かった。ひこうタイプは「速いやつは力が強い」「速いやつは力が弱い」傾向がある。

BoxPlot



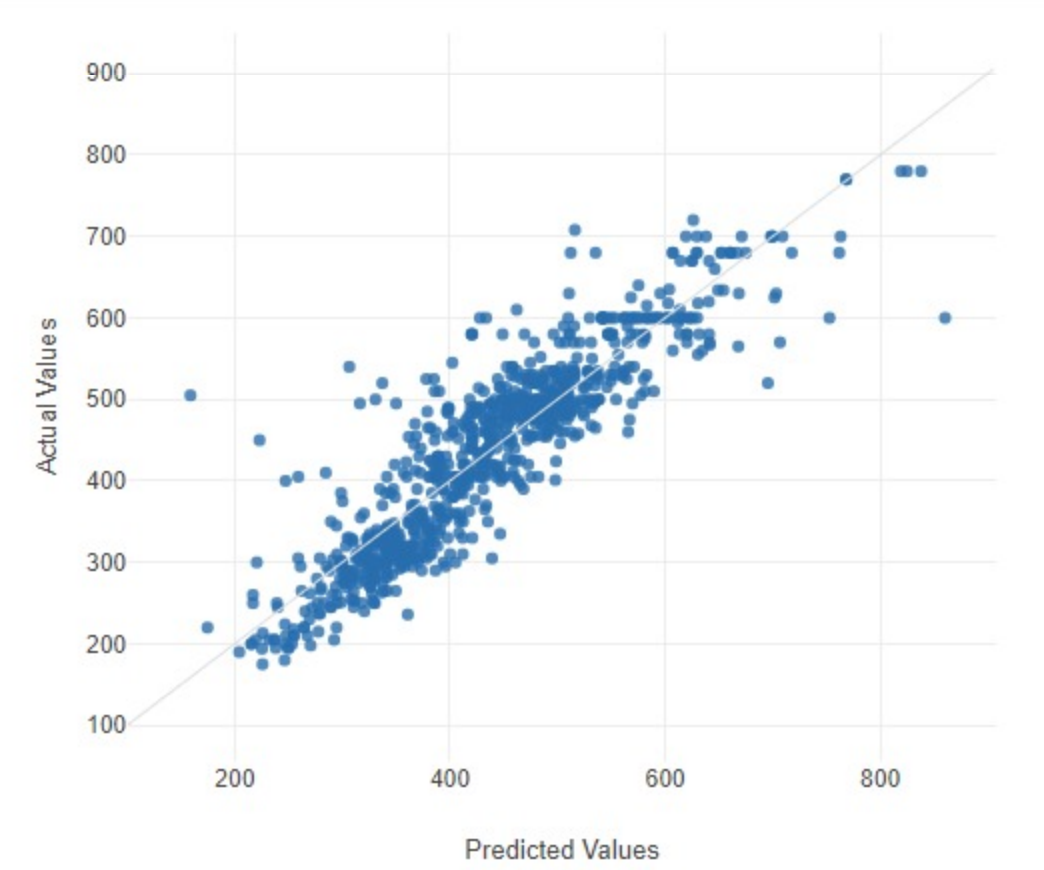
Text

こうげき・とくこう・すばやさのK-Meansクラスタリング(3クラス指定)を行った結果、こうげき>すばやさ>とくこうグループ、とくこう>すばやさ>こうげきグループ、3つとも低いグループに分かれた。こうげきととくこうのどちらかを選ぶとすれば、とくこうグループの方がややすばやさで優る。

Coef. Table

変数名	係数	標準誤差	t統計量
(Intercept)	120.0044324938	5.590495206	21.4657965122
こうげき	1.8010808672	0.060045413908	29.9953110483
すばやさ	0.63542414385	0.069264227922	9.1739150628
とくこう	1.7822075827	0.061895024837	28.7940361503

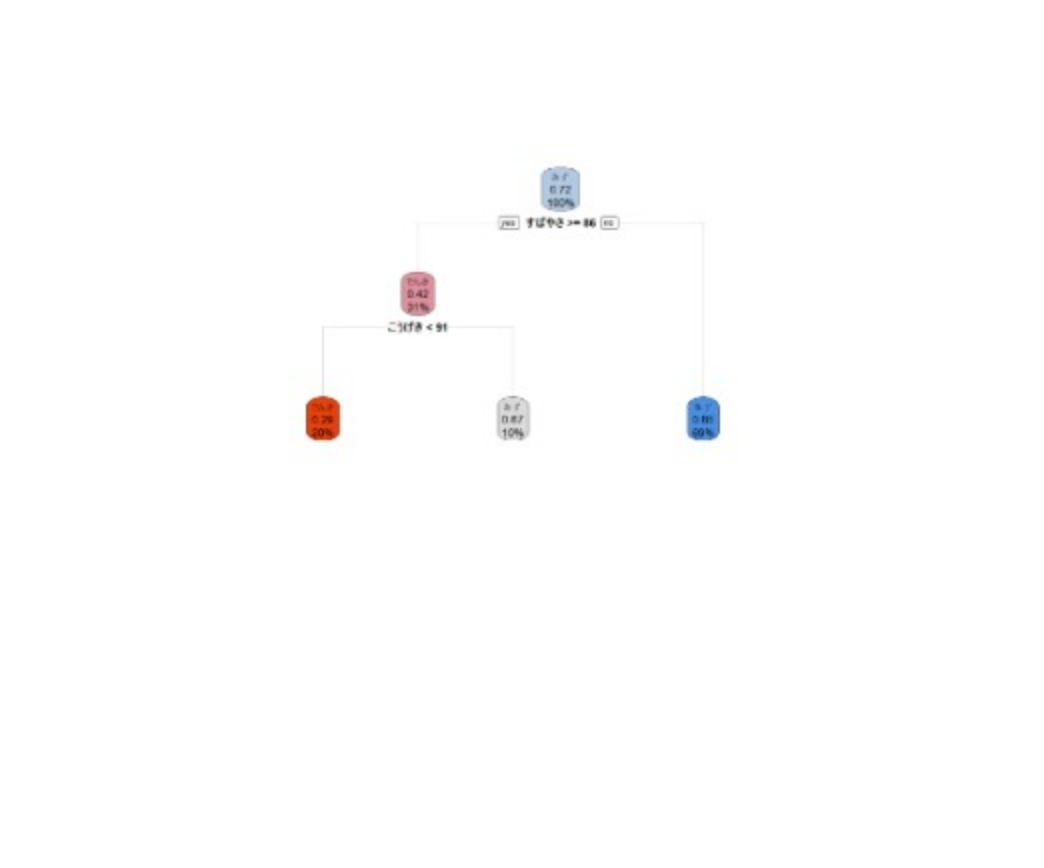
Residuals



Text

こうげき・とくこう・すばやさから合計種族値を見積もるには、「合計種族値=1.80こうげき+1.78とくこう+0.64すばやさ」が良い。

Tree



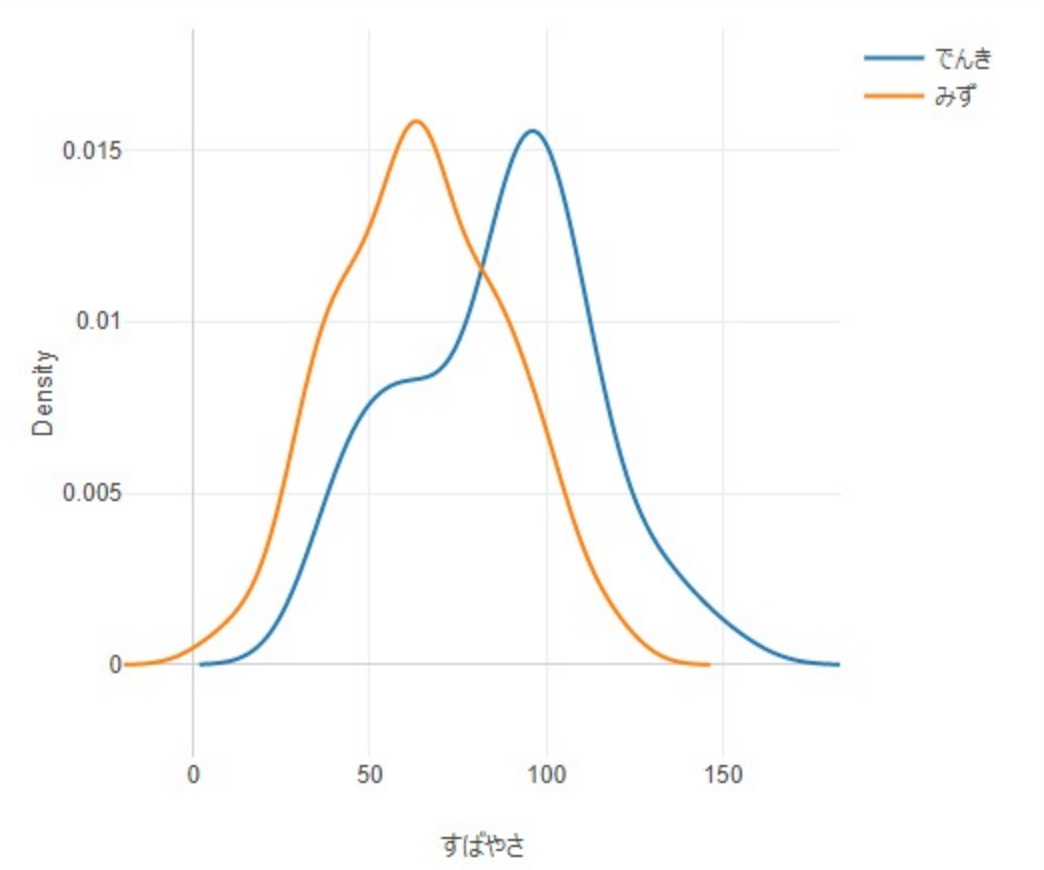
Prediction Matrix

Actual	Predicted	
	でんき	みず
でんき	14.53%	13.95%
みず	5.81%	65.7%

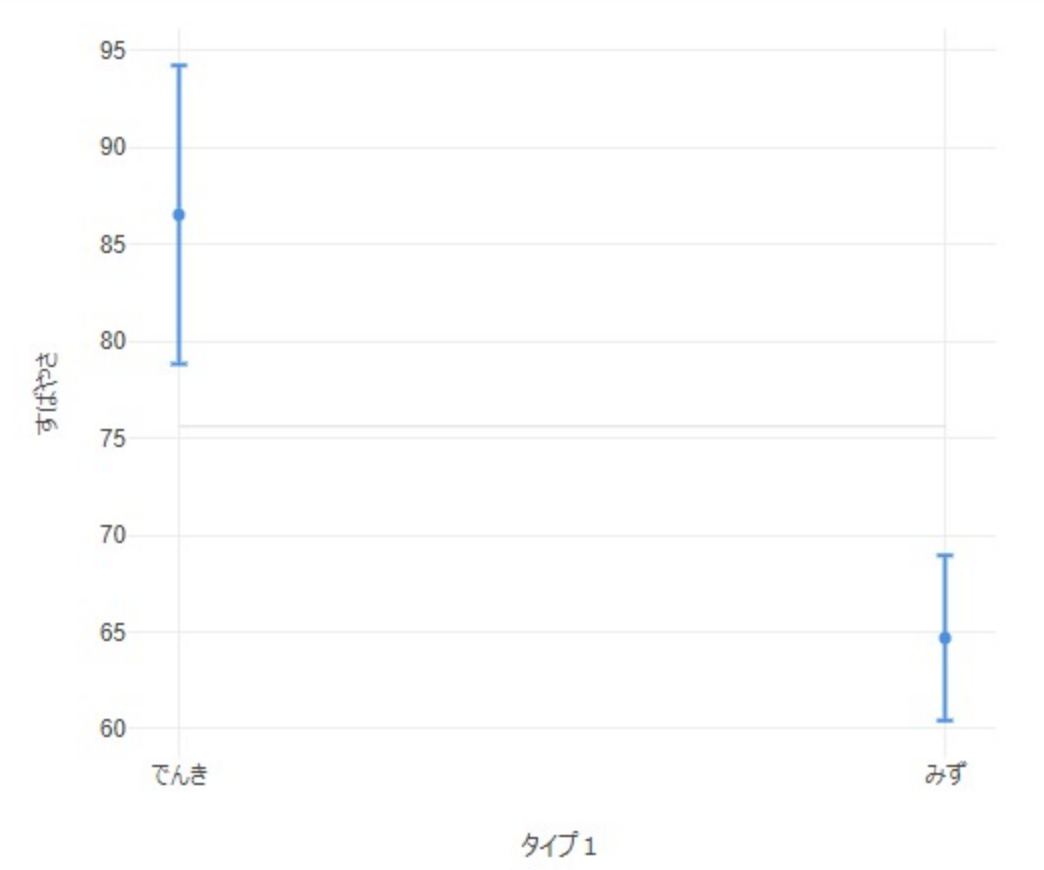
Text

決定木によるみず・でんきタイプの分離を行った。まず、すばやさ86未満であればみずタイプとする。そうでないグループは、こうげきが91以上であればみずタイプとする。残りがでんきタイプである。この方法はF値0.80の確かさである。

Density Plot



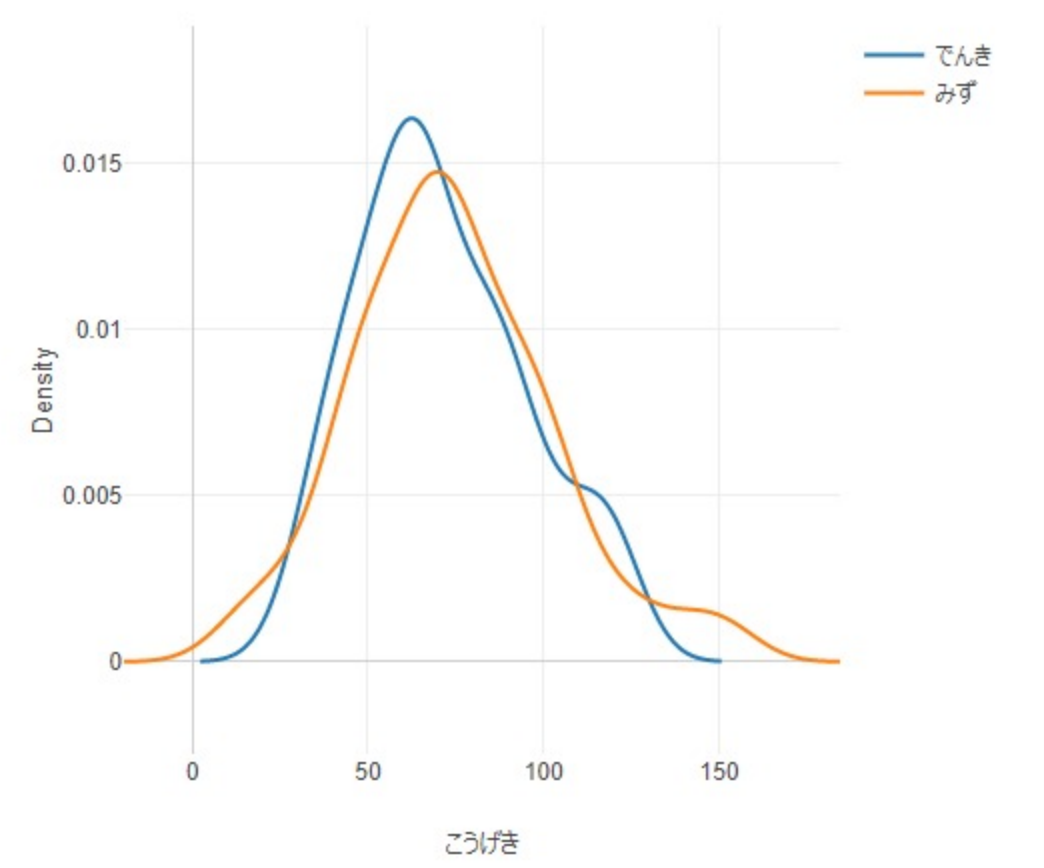
Error Bar



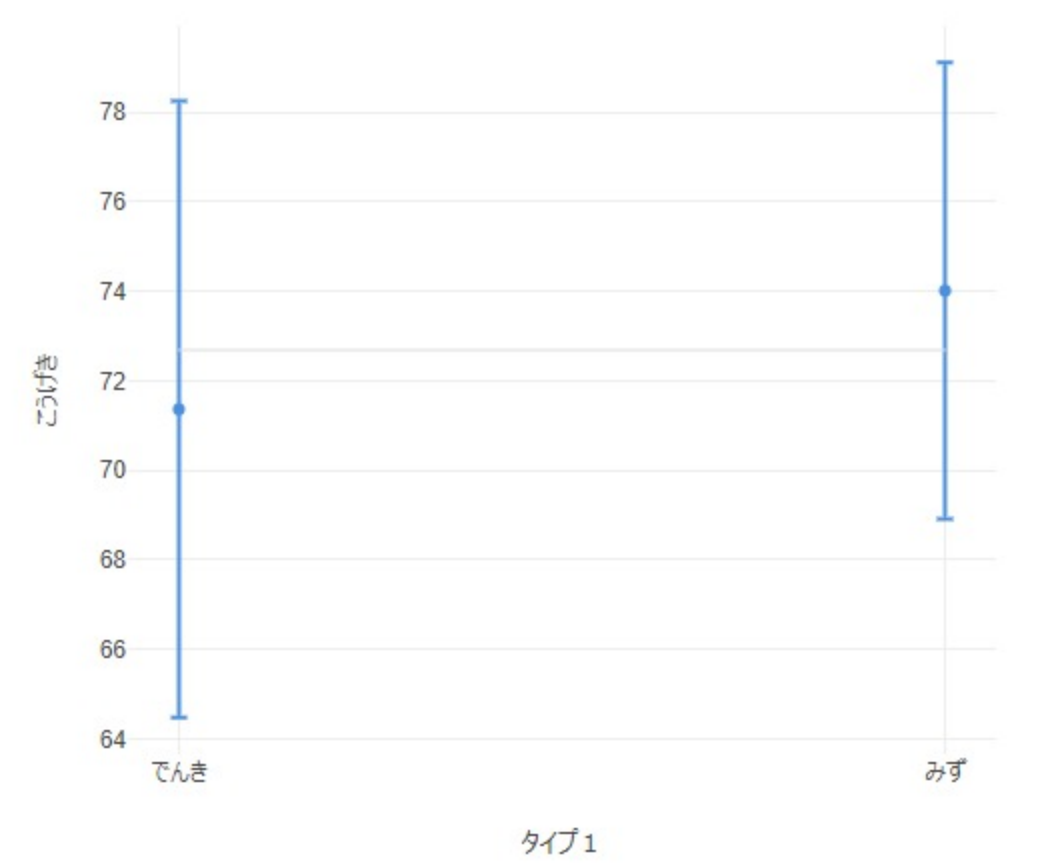
Text

「みず・でんきタイプのすばやさに差があるかどうか」の検定を行った結果、P値=0.000004<0.05であることから有意な差があると言える。

Density Plot



Error Bar



Text

「みず・でんきタイプのこうげきに差があるかどうか」の検定を行った結果、P値=0.54であることから有意な差があるか分からない結果となった。